

じんけん

丹波



発刊にあたって

人が人として尊ばれ、幸せな生活を送り、すべての人の人権が尊重される社会をつくり上げることは、私たちみんなの願いであり、責務でもあります。

丹波市では、年間を通じて「人権文化をすすめる市民運動」を展開し、人権尊重のまちづくりをすすめています。人権文化の創造とは、お互いが「こころの壁」を取り払い、それぞれの価値観やライフスタイルの違いを認め合い、相手の立場や気持ちを理解し、人を思いやる心・感性を磨いていくことです。これらの積み重ねが、日常の身近な出来事を人権の視点から考えることにつながり、人権を尊重することが当然のこととして、住みよいまちづくりにつながっていくことと考えています。

この人権啓発・学習冊子「じんけん丹波」No.9は、人権意識の高揚や地域での学習にご活用ください。



平成二十六年三月

丹波市長 辻 重五郎



もくじ

映画「もののけ姫」と同和問題の今昔……………	1
DVと子どもへの影響ゝ寄り添う一人になってゝ……………	3
「いじめはダメ」と言わず「優しい子だね」と言おう……………	5
男女共同参画と日本社会の未来……………	7
ゝあなたへゝ……………	9
中学生人権作文「私へのエール」……………	11
人権学習教材①……………	13
人権学習教材②……………	16
「じんけん標語」優秀・優良作品……………	18
「人権啓発ポスター」優秀作品……………	19
「人権啓発ポスター」優良作品……………	20



映画「もののけ姫」と同和問題の今昔

京都産業大学文化学部教授

なだもと まさひさ
灘本 昌久



今から十七年前の一九九七年、宮崎駿監督の映画「もののけ姫」が公開されました。

私自身は、アニメが好きでもありませんし、「風の谷のナウシカ」などで宮崎さんには注目していましたが、さつそく見に行きました。そして驚きました。まさに、びっくり仰天です。

なぜなら、当時はまだあまり知られていなかった中世（鎌倉・室町時代ごろ）の被差別民、被差別集団が、これでもかと言わんばかりに登場していたからです。

具体的には、物語に登場する「石火矢衆」という鉄砲を操る戦闘集団ですが、物語の設定となっている室町時代には大神人といわれ、京都に古くから実際にいた賤民集団です。彼らは、清目・河原者という後の同和問題に連なる集団よりも相当古くから史料上にあらわれており、祇園社に隷属し地域の警備や、祇園祭の先導をする

など、重要な職能をになってもいました。

もうひとつは、唱門師と言われる集団です。彼らも、室町時代には京都に実際に存在し、「千秋万歳」や「傀儡（人形使い）」などの芸能的な職能をになっていました。これが物語中では、「ジコ坊」というやや得たいの知れない、諜報機関員みたいな人物として登場しています。

このほか、主要登場人物である少数民族の「アシタカ」はアイヌの伝説上の人物からとったものですし、「タタラ場」という製鉄を営む要塞のような砦の中に困い込まれている病者は、室町時代の絵巻物などに登場する「癪者（ハンセン病患者）」そのものです。その他、登場する多くの女性は、人身売買で奴隷のような境遇であった人たちですし、当時には地位のうんと低かった牛飼日も登場します。

こうした、従来のアニメではまったく登場してこなか

った様々なキャラクターを登場させた理由について、宮崎さんは、ただサムライが活躍したり、百姓が虐げられるだけの物語は作りたくなかったとおっしゃっています（『もののけ姫はこうして生まれた』）。つまり、かつて中世を暗黒時代としてのみ見ていた歴史研究が、中世に新しい明るいものを見つつある動向に連動し、社会外の社会に生きる人たちや集団に、ただ迫害されただけの存在ではないエネルギーのほとばしりを与えようとしたと思えます。

声の吹き替えで登場する美輪明宏さんは、同性愛ということで世間から疎んじられた過去が有り、また、印象的な映画の主題歌を歌った米良美一さんは、一先天性骨形成不全症」という病気で障害者となり、いじめに苦しんできた経歴を持っています（『天使の声 生きながら生まれ変わる』）。深読みすれば、そうしたキャスティングも宮崎さんの試みの一環かも知れません。

さて、「もののけ姫」公開から二〇年近くが経とうとしています、明るい光は差してきたでしょうか。アニメを見ていて、さまざまな思いが心をよぎります。



DVと子どもへの影響／寄り添う一人になつて／

NPO法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ代表理事

まさい れいこ
正井 禮子



DV（ドメスティック・バイオレンス＝配偶者間の暴力）とは暴力で相手を支配することであり、恐怖による支配とも言われる。暴力は身体的暴力だけでなく、言葉の暴力や束縛、経済的暴力や性的暴力など多様であり、相手の言動を怖いと感じたら、それはあなたが暴力を受けているということである。私がDV被害者支援に取り組みきつかけは、一九九五年の阪神・淡路大震災である。「女性のための電話相談」を開設したが、驚いたことに相談の六割はDVだった。その後も相談は減ることがなく、二〇〇一年に同行支援（警察や福祉事務所、裁判所など）を始めた。暴力から逃れるには安全な住居の確保が不可欠だと知り、二〇〇五年に緊急一時保護のためシェルターを開設し今日に至っている。

被害女性の多くがPTSDや鬱、対人恐怖を抱えており、回復には長い時間がかかる。子どもも同様である。妻に暴力をふるう夫の六〇七割が子どもにもふるっている。

る。たとえ子どもに直接の暴力がなくても、暴力を目撃する恐怖や極度の緊張が子どもに与える心理的ダメージは非常に大きく、児童虐待防止法にもDVの目撃は子どもへの心理的虐待とされている。問題行動として、多動、不安、学習困難や、人間関係が苦手であったり、仲間に対して攻撃的な態度をとりやすいなどが挙げられる。暴力による問題解決を学ぶことは、地域社会へも深刻な影響を与える。DVは決して個人の問題ではなく、社会全体で解決すべき問題である。

では、DV家庭で育ったら必ず暴力をふるう人になるのか？ そうではない。有名な心理学者のアリス・ミラーは「たった一人でもいいから、その子どもの気持ちに寄り添ってくれる大人がいたら、その子どもは健全に育つ」と述べている。DVの被害者も加害者もつくりたくないという思いから二〇〇七年に、中・高生を対象に「デートDV防止に向けて／対等な人間関係を築こう」とい



う出前授業を始めた。対等な関係に暴力は起きないからだ。これまでに約十万人の子どもたちに授業を提供しているが、「交際を始める前に学べてよかった」「男女平等を築くのは僕たちの仕事だ」という感想を述べる中学男子は多い。将来彼らが大人になった時、男女の対等なパートナーシップを築き、地域からDVや児童虐待を根絶する大きな力になると期待している。

最後に、あなたがDV相談を受けたら、信じて聴いて「暴力を振るわれていい人なんていない。あなたが悪いのではない。」と伝えて欲しい。女性が家に留まるのは、住居や経済的問題の他に周囲の無理解もある。特に「あなたさえ我慢すれば、子どもから父親を奪わないですむ」「離婚は恥」などの声が被害者から自由を奪う。残念ながら暴力はエスカレートする傾向が強く、夫が変わることとは稀である。「家を出るといふ選択肢もあつて、いい」「暴力から離れることは子どもを守ることになるよ」と勇気づけて欲しい。たった一人でも寄り添ってくれる人がいたらどれ程心強いことだろう。

※PTSD：心的外傷ストレス障害

「いじめはダメ」と言わず「優しい子だね」と言おう

兵庫県児童虐待防止
対策等アドバイザー

しまだ たえこ
島田 妙子



になりました。家に加えて学校でのいじめは相当辛く、心はバラバラに壊れそうになりました。でも、子どもは見たまま感じたままを相手に表現するものなんですね。

本来はどんな子も「優しさの種」を心に持っています。この世になかった存在がこの世に産まれる・・・。

大切な部分は、生（性）教育から始まると私は思っています。

何億匹の一の確立でお母さんの卵子に入ることが出来る。そしてお腹の中で育まれ誕生する事が出来る「奇跡の存在」です。そんな奇跡で生まれた存在同士が、共に同じ時代に生き、共に同じ地域で生きるという事自体が奇跡で、身なりや環境など本当は関係ありません。地震や災害・・・今この地球上でどんな事が起こるか予測もできない毎日を私たちは生きており、

私は小学校一年生から中学二年生までの七年間、実父と継母から壮絶な虐待を受けて二度命を落としかけました。本当なら何の遠慮もなく親に甘えたい時期でしたが、我が家では肉体的な暴力に加え精神的な虐待、また「泣く」「笑う」「自分の意見を言う」そして「感情を出す」という事が禁じられていたのです。本来なら安らげる場所である家庭の中での壮絶ないじめは、私にとっては生き地獄でした。それでも学校へ行けば給食も食べられますし、何よりも友だちという存在がいてくれた事は、唯一心が休息できる場所でした。

しかし、私は七年の間に、なんと八回も転校を繰り返しました。低学年の頃はなんの偏見も持たずに接してくれていた友だち・・・。他の子に比べ自分で振り返っても身なりは汚く、高学年になってくると学校でもいじめを受ける事

人は、いつ誰に助けてもらおうかもしれませんが、だからこそ「いじめをしたらいけません」「人を傷つけたらいけません」という教育やしつけではなく、「だからこそ、どんな人にも優しく親切にしようね」という教えを子どもたちにしていく事が、何よりも大切だと心から感じています。

奇跡で誕生した赤ちゃんは、泣く以外何も出来ない状態からひとつひとつ出来るようになっていきます。立ち上がる日も、たとえ同じ日に生まれても違うのです。

親は我が子が歩けた瞬間の喜びを感じたはずですが、いつの日か子どもが、よその子と関わる中で「出来るようになった喜び」を忘れ「出来ない事を叱る」ようになっていきます。できない事を叱らず、出来るようになっていく事、自分という存在に自信を持ち、他人の出来ない事も責めずに心から喜んであげられる子に育っていきます。

シンプルですが、やっぱり子は大人の「鏡」です。



男女共同参画と日本社会の未来

京都大学大学院文学研究科教授

伊藤 公雄
いとう きみお



男女平等の社会をめざして男女共同参画社会基本法ができたのは、一九九九年のことだ。すでに十五年近い年月が経過している。でも、日本社会は、この基本法が目的とした男女共同参画社会を実現できただろうか。どうもそうは言えないようだ。

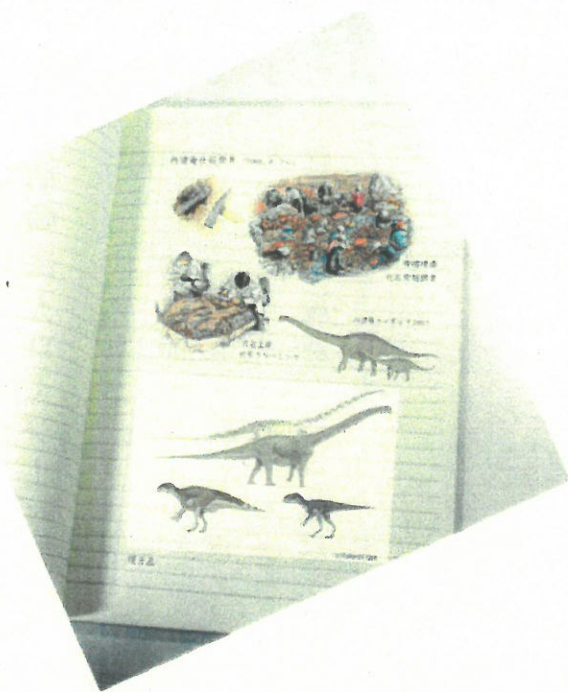
二〇一三年十月に発表された世界経済フォーラムのグローバル・ジェンダーギャップ指数（簡単にいえば男女平等度の国際ランキングだ）によれば、日本の男女平等度は、世界一三五カ国中一〇五位とたいへん低い。日本の後に来るのは、宗教的に女性の社会参加を抑制してきたイスラム系の国々が多い。

こうしたデータを見ると、「日本は昔から男尊女卑の文化だったから仕方ない」というようなことを言う人がよくいる。でも、そうだろうか。そんなに日本の伝統文化を低くみてもらうとちよつと困ると思う。そもそも、日本の民間宗教で八百万の神々のトップに来るのは、天照大神、つまり女性である。一神教のユダヤ教、キリスト教、イスラム教の神は、いうまでもなく男性だ（神は

たいていひげをはやして描かれていることからそれは明らかだ）。

実際、日本の古代史を振り返ると、卑弥呼をはじめ、女性の君主や天皇が多い。古代社会で、こんなに女性のトップがいた国もめずらしい。平安時代を見れば、紫式部や清少納言、和泉式部などたくさん女性の作家たちがいる。これも、世界の歴史上めずらしい。もちろん、日本の社会も歴史的には男性優位社会だ。でも、他の文化と比べると、女性の社会的地位は比較的高い社会だったと今では考えられている。

しかし、今は世界一〇五位。なぜこうなってしまったのか。それには理由がある。国際社会が、あらゆる人の権利を人権であると認識し、人権問題に本格的に取り組み始めたのは、一九六〇年代後半から七〇年代のことだ。アメリカ合衆国でアフリカ系の人への差別が社会問題化されたのを覚えている人も多いだろう。日本でも、こうした人権問題への取り組みが一九七〇年前後に広がる。部落差別問題、障がい者差別問題、外国人差別問題、



先住民（日本の場合はアイヌの人たちなど）差別問題について、（いまだ多くの問題をかかえているとはいえ）飛躍的に対応は深化した。しかし、「世界最大の人権問題」といわれる女性差別問題（この時期以後、欧米社会も、また、発展途上国も男女平等へと大きく変化した）には、きわめて対応が遅れたのだ。

実は、日本社会は、他の社会以上に男女共同参画を急ぐ必要がある。人類が経験したことのないような急激な少子高齢社会に突入しているからだ。もう男性だけで社会を支えることはできない。また、女性の社会参画こそが、社会と経済の安定した成長をもたらすという研究データもたくさん出されている（だからこそ、世界の経済成長をめざす世界経済フォーラムが、各国の男女平等度を問題にし始めたのだ）。

とは言っても、現在の男性が負わされているような長時間労働を女性にも、というのは大問題だ。むしろ、女性の社会参画に対応して、男性も家事、育児、介護ができるような社会が望ましい。つまり、男女両性のワークファミリーバランス（仕事と家庭生活のバランス）が必要だ。男女が多様な生き方ができるとともに、男女で社会を、そして家庭・地域とともに支える社会＝男女共同参画社会の実現が、今、本格的に求められている。

あなたへ

作家・保護司・認定特定非営利
活動法人ロージール理事長

おおぬま

大沼 えり子



少しだけ私の話を聞いて下さい。

生まれてからの十数年間、一度も笑ったことがない少年がいることを、「俺、生きてていいんすよね？」と繰り返し確認しなければ生きることができない少年がいることを、あなたはご存知でしょうか。

「君の幸せって何？」「・・・・・・・・・・」

少年は深呼吸し、

「ないな、多分・・・・・・・・、ない。わかんない・・・・・・・・しあわせ・・・・・・・・」

悲しいこの情景は、他の少年たちも同様です。幸せを知らない少年たち。一様に見せるその表情はこれまでの哀しみと寂しさを物語っています。今私は、その少年たちと共に人生を歩んでいるのです。

二〇〇一年十一月、一人の少年の立ち直りを助けたという一念で保護司の委嘱を受けた私は、十二月少年院の参観で少年たちの現状に打ちのめされました。自分を「社会のゴミだ、生まれてこなければよかった」と思っている現実、家族に

恵まれず劣悪な環境の中を生きてきた彼らが必死に更正しようとするその姿に何かをせずにはいられず、当時地域のFM局でDJをしていた私は、音楽とメッセージなら彼らの心に届くかもしれない、君たちは一人じゃない、応援している人がいる、その想いをラジオに託し二〇〇一年十二月二十四日、クリスマスプレゼントとして始めた院内放送は十三年にわたり、現在も月一回一時間番組を東北と北海道の三少年院に贈り続けています。

院内DJを始めて四年、少年から一通の手紙が届きました。暴力団の組長が夢だった少年はDJを聴いて学校の先生になり私に「ありがとう」を言いに来ることが夢になったと。しかし、仮退院目前だった彼は時期を過ぎても出院できませんでした。少年院は引受人がなければ出院することができないことを私はその時初めて知りました。そして同じような少年が少なからずいることも。そこで私は、只管に頑張っている彼らをお帰りとあたたかく迎える家を建てようと思ひました。

夢の実現のために同志と二〇〇八年十月NPO法人ロージールを設立、少年の家の建設に向けて奔走し、二〇一一年東日本大震災の年にハウスを開所、家庭裁判所、保護観察所、少年院、児童相談所と連携し十三人の少年を受け入れ十一人の独立を手助けしています。何より嬉しいことは、入居時にはなかった笑顔がいつも少年たちの顔にあることです。

少年たちと向き合う時、人は生まれ来る時は誰もが天使であり愛されるために生まれ来る、幸せを知らないという少年だからこそ幸せになつてほしい、家族が待つ喜びを知ってほしいと願わずにはいられません。

誰の心の中にもやさしさが住んでいると私は信じています。地域が連携し一人一人が心に咲くやさしさの花を紡ぐことこそが、非行や犯罪から人々を守り、子どもたちを幸せへと誘い、包み、守る、あたたかな社会を作るのだと思うのです。日進月歩の中、悲しみがほえみに変わる時の言い難い喜びを胸に抱きつつロージールは歩んでいます。

そして私は確信しています。「たった一つの笑顔に会うために」決してこの灯を途絶えさせることはできない、と・・・
この想いがあなたのこころに届きますように・・・



※DJ...ディスクジョッキー
ラジオ番組の司会者等

私へのエール

氷上中学校3年

たにがき
こ
谷垣 りさ子

私は二年前、苦しくて悩み続けたことを人権作文に書きました。どこかに自分の辛さをぶつけたかったからです。希望をいつはい持つて入学した私を待っていたのは、無視やうわさ話や悪口でした。まさか私がこんな思いをしなければならぬとは夢にも思っていませんでした。学校に行っても、下を向いて暮らす日が多くなりました。部活に行くことが怖くなりました。それでも学校を休む勇気もなく、ただ辛抱して過ごしました。私の何が悪いのか、考えても考えても答えは見つかりません。こんな日が繰り返されると何が変わっていくかという、自信がなくなっていくのです。それはとても恐ろしいことなのです。悲しいことに、他の学校でその後いじめによる自殺が大きくニュースになりました。私は他人事とは思えません。きっと辛抱して耐え、それを繰り返して、自分自身ではもうどうすることもできないと思うところまで追い詰められたんだと思いました。いじめをした子が言う共通の事は、「そんなつもりはない」「冗談やん」という

言葉です。初めは軽い気持ちや冗談かもしれないけれど、人間の怖いところは、集団でそれを繰り返すうちに、自分自身の行動が見えなくなり、エスカレートしていくことだと思います。気が付いた時には、もう手遅れなのです。どんなに辛くても、自分の命を断つことは、正しいことだとは思いません。でもそれしか方法が見つからなかった人の気持ちを、いじめをする人は理解すべきだと思います。

私が苦しかった時、母から、「あんたはそんなこと考えて悩んでる暇ないやろ。忙しいのがあんたに似合うで。」と言われたのです。家で何も手につかない私に言った母の言葉でした。きっと元氣のない私を一番心配していた母だと思いましたが、「何とか前を向いて勇気を持って頑張って乗り切ってほしい。応援するから。」と私を励ましてくれていたんだと思いました。私はそれから後からかわれても、悪口を言われても、それを知らん顔して、自分のやらなければいけないことだけを考えて、夢中になって頑張

りました。勉強も部活も行事も真剣に向き合えば本当にやること
がいつはありました。そんな日々を過ごしていると、あつとい
う間に二年生になっていました。いつの間にか辛かったことがう
そみたくなくなっていました。人はいじめを受けた時、人それ
ぞれいろんな行動の起こし方があると思います。はつきりと本人
に立ち向かう人。何も言わず辛抱する人。さらに弱い人にあたる
人。でも、私もそうであつたように、辛い時は必ず信頼できる人
を見つけて、辛い気持ちや、今起こっていることをすべて話して
もらいたいと思います。一人で頑張る必要なんかありません。そ
うすればきっと、何か良い方法が見つかるからです。

今、みんなに辛かったことを話しても、誰も信じてくれないと
思います。それは、今の私がとても元気で明るいからです。振り
返ってみると、「小さなことにこだわっていたなあ」とか、「でも
あの子だけは許せないなあ」と思います。しかし、入学した頃の
自分のことを落ち着いて考えると、やる気満々で、何でも自分の
思い通りにしようとしていた私は、友達から見ればいやな子だっ
たんじゃないかなあと思います。私にも反省しなければいけない

ことがきつとあつたと思います。元気になった今だから、自分の
ことを冷静に見つめることができるようになりました。また、い
ろんな経験をしたから、短気だった私が人を待てるようになり、
やさしくなれました。中学校で過ごしたたくさんの日々や出来事、
出会った先生や友達は、今の私を育ててくれた宝物だと思ってい
ます。悩んだこと、怒ったこと、泣いたこと、笑ったこと、おも
しろかったこと、頑張ったこと、どれも一人では出来ませんでした。
今、私は私と出会ってくれた人達に心から「ありがとう」を
言いたいです。これから進んでいく道には、もつと辛いことが待
っているかもしれません。それにどんなに頑張っても、思い通り
に行かないこともたくさんあると思います。でも、中学校で成長
できたことを自信にして、これから自分らしく歩み続けていき
ます。

「頑張れ！私」



～人権学習があなたの自治会を元気にします！～

丹波市では「人権文化の根づくまちづくり」の創造に向け、人権の今日的課題や地域で抱える課題解決のため、市民一人ひとりが、暮らしのなかで人権を尊重した生き方を学び、豊かな人間関係の構築に取り組むための「住民人権学習会」を各自治会で実施しています。

人権学習を始める前にあなたの意識や考え方をチェックすることから始めてみましょう！

人権学習教材①「人権意識編」

「あなたの人柄の傾向を…さあ、チェック！」

◆「教材のねらい」

チェックリストを使って自分自身の「傾向」に気付くことで、自分の行動をより良い方向へ変えるきっかけづくりをします。少し緊張した学習会の冒頭に、皆でワイワイ言いながら和やかな時間をつくりましょう。この時間が、参加者のコミュニケーションをとりやすい雰囲気をつくれます。このような学習の準備運動をアイスブレイキング（ice breaking）と言います。また学習会以外にも、一人で自分の傾向を見つめ直してみてもいいでしょう。

◆「学習教材の使い方」

1. 学習会が始まった冒頭でシートを配り、3～4人程度のグループをつくります。
2. ワークシートでチェックし、各シートの合計点数を出します。
3. グループに分かれ、「★学習の手順」を参考に進めます。

以下の質問に答えてあなたの傾向をチェック！

★あなたの傾向チェックシートNo.1

	よくある	たまにある			全くない
	1	2	3	4	5
① 歯に衣を着せぬ言動をすることを自慢にしている	1	2	3	4	5
② 相手の職業、職種によって態度が変わることがある	1	2	3	4	5
③ 物事を決める際には、時には強引になることもある	1	2	3	4	5
④ 思ったことはすぐ口に出さないと気がすまない	1	2	3	4	5
⑤ 地位や職業で、その配偶者の価値を判断することがある	1	2	3	4	5
⑥ 何事にも行動力のある方だと思う	1	2	3	4	5
⑦ 女性社員や若い社員に対応されると軽く見られたような気がする	1	2	3	4	5
⑧ 学歴や出身校で、人を判断してしまうことがある	1	2	3	4	5
⑨ 肩書きがある人には、つい遠慮してしまう	1	2	3	4	5
⑩ 作業着を着ている人より、背広を着ている人の方が偉いと思ってしまう	1	2	3	4	5

★あなたの傾向チェックシートNo.2

- ①能力主義だと言いながらも他人がばりばり仕事をするとおもしろくない
- ②どんな家事や雑用も大切だといいつつ、自分ではしようとししない
- ③出世が遅いと社会では落ちこぼれのように思ってしまう
- ④職場や近所での噂話が気になる
- ⑤差別はいけないが身内の場合は別だと思ってしまう
- ⑥「近頃の若い者は」という発言をしたくなるときがある
- ⑦男はたくましく、女はやさしくあるべきだと思っている
- ⑧上司や年配者に言われたことは逆らえない
- ⑨仕事を家庭に持ち込まないと言いながら、毎日帰宅が遅くなる
- ⑩言い訳や愚痴を言わないし、聞かないのが人間のあるべき姿だ

	よくある	たまにある		全くない	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	
1	2	3	4	5	

★学習の手順

1. 次ページの診断カードで判定してみましょう。

チェックシート1の合計点数（ 点）＝診断No.1（ ）

チェックシート2の合計点数（ 点）＝診断No.2（ ）

2. 自分の傾向についてどう思いましたか。

3. グループで各項目について話し合い、地域や仲間の中でよりよい人間関係を築くためには何が大切なのか話し合いましょう



◆診断シート No.1

A: 0点~25点、B: 26点~39点、C: 40点~50点

- 0点**
- A** あなたは、自由平等の精神にあふれた思いやりの人。地域のなかでは必ずしも目立つ存在ではありませんが、人望が厚く、近所の人からも相談を受ける機会が多いのではないのでしょうか。仕事もマイペースで確実にこなしていくタイプです。
- それが時には周囲から消極的だと見られがちですが、結果的には信頼を受けることになるでしょう。
- 25点**
- B** あなたは、ONタイム、OFFタイムも全力投球する積極人間。仕事もばりばりこなし、趣味にも意欲的です。つい地域や職場でも、できる人、できない人、エリートでない人といった色分けを無意識にしがちですが、もちろんそれをあからさまに言うような人ではありません。一人ひとりのちがいや個性をそのままとして認めることが大切です。
- 40点**
- C** あなたは度量が大きく大胆で、小さなことにこだわらない個性派人間。ちょっと押しが強いのが難点ですが、人付き合いも良く、面倒見も良いのではないのでしょうか。反面、外見で人を判断したり、男は、女は、人間はこうあるべきといった先入観に行動が左右される傾向があります。自分中心の考え方から、相手の立場を理解する努力が加われば人生はもっと豊かになります。
- 50点**



◆診断シート No.2

A: 0点~25点、B: 26点~39点、C: 40点~50点

- 0点**
- A** 非常にバランス感覚に優れており、自分だけでなく他人の存在価値をしっかりと認められる人です。他人のプライバシーと自立を尊重するあまり、一見冷たい人のように思われがちですが、実は人間を愛する心熱き人。大勢の人と賑やかに過ごすよりも、親友たちの充実した時間を好みます。付き合えば付き合うほど味が出るタイプです。
- 25点**
- B** 協調性に富み、話題も豊富なので何かと言えば中心的な存在になりがちです。それだけに地域やグループ内での影響力も大きく、言動にも責任感が要求されます。ムードメーカーとして、思いやりにあふれた行動がとれば、おのずと人間関係では良い方へと向かい、あなたがいるだけでその場の雰囲気や和やかになるはずです。
- 40点**
- C** あなたを取り巻く人々は、あなたのことが大好きな人、苦手な人と二分される傾向にあります。大好きな人は、あなたの個性と行動力にひかれ、苦手な人はあなたの強引さにちょっといやになっていることも。他人の思いやりや包容力が、あなたをさらに魅力的にするはず。あなたの価値判断のものさしをこの機会にもう一度見直して見るのいいのでは。
- 50点**

※診断シートは大まかな傾向の目安としてご活用ください。

「あなたの中に思い込みありませんか!？」

◆「教材のねらい」

本学習教材は、家庭生活、職場、地域社会において社会通念や慣習として「男性だから」「女性だから」といった社会的につくられた性差（ジェンダー）が存在していないかをチェックし、男女が共に責任を分かち合い協力していける男女共同参画社会を推進していくために作成しています。人権学習教材①と同様に、学習のなごやかな雰囲気づくりにも役立ちます。

◆「学習教材の使い方」

1. ワークシートを配布します。（学習開始前の事前配布を行わない）
2. ワークシートでチェックし、各シートの合計点数を出します。
3. 5～8人ぐらいのグループに分かれ、各項目について話し合います。

以下の質問に答えてあなたの傾向をチェック!

★家庭生活では…

- | | | |
|---|-----|------|
| ①夫のことを「主人」と呼ぶのは当たり前である | ○はい | ○いいえ |
| ②女性は結婚したら夫の姓を名乗るべきだ | ○はい | ○いいえ |
| ③家庭を持っている男性が洗濯をしたり、スーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思う | ○はい | ○いいえ |
| ④「女の子は優しく、男の子はたくましく」育てる方が良い | ○はい | ○いいえ |
| ⑤各種の手続きや付き合いは夫の名前でする方が良い | ○はい | ○いいえ |

★地域では…

- | | | |
|--------------------------------|-----|------|
| ①自治会役員には女性よりも男性の方が向いている | ○はい | ○いいえ |
| ②近所付き合いは主に女性がする方が良い | ○はい | ○いいえ |
| ③会合では男性が進行、女性はお茶出しなどの接待をする方がよい | ○はい | ○いいえ |
| ④子ども会の係や公民館の掃除は女性がする方が良い | ○はい | ○いいえ |
| ⑤自治会などの会合には男性が出席すべき | ○はい | ○いいえ |

★学校などでは…

- | | | |
|---------------------------|-----|------|
| ①学校の名簿は男性が先、女性が先でも問題はない | ○はい | ○いいえ |
| ②保育士は女性の方が良い | ○はい | ○いいえ |
| ③学校行事には女性が参加すべき | ○はい | ○いいえ |
| ④PTA 会長には男性の方が向いている | ○はい | ○いいえ |
| ⑤進路指導では男女差により職種や進学先を考慮すべき | ○はい | ○いいえ |

★職場では…

- | | | |
|----------------------------|-----|------|
| ①男性も育児休暇を積極的に取得すべき | ○はい | ○いいえ |
| ②いい仕事をするには、家庭のことを忘れるくらいがいい | ○はい | ○いいえ |
| ③責任者や管理職は男性の方が望ましい | ○はい | ○いいえ |
| ④男女により賃金格差があっても仕方がない | ○はい | ○いいえ |
| ⑤子どもが小さいうち母親は外で働かない方が良い | ○はい | ○いいえ |

★学習の手順

1 あなたの点数を計算してみましょう！

★はい…1点、いいえ…0点として点数を計算して下さい。

	点 数	点
家庭生活		点
地 域		点
学 校		点
職 場		点
合 計		点



2. ワンポイント・アドバイスを見て、あなたの傾向をチェックしましょう！

3. グループになり、あなたの傾向や違和感のあった質問について話し合しましょう！

★ワンポイント・アドバイス ～交通安全の生き方をしてみませんか？～

◆16点～20点 停滞中

高得点に喜ばないでください。高得点は赤信号。性別にこだわりすぎて男女が協力し合う道を停滞させています。男性は仕事だけ女性は家庭だけという固定概念から抜け出してみませんか？そうすれば、きっと誰にとっても安全で安心な道路になります。

◆11点～15点 点滅注意、要注意です。

性別による決めつけや、男性優位の傾向が伺えます。家庭が男性にとっても同じように居心地のいい場所になっていますか？特に高得点の分野を見直しましょう。ちょっとした意識を持つことで普段の生活が変わることでしょう。

◆6点～10点 手を挙げて横断歩道を渡りましょう。

女性にとっても男性にとっても、この世の中は昔よりは選択の幅も広がり、生きやすくなっているのだから、このままいけば世の中は自然に変わると安心していませんか。男女共同参画社会のために、はっきり手を上げるのがあなたの役目だと思います。

◆0点～5点 全方向OK、スクランブル家族です。

性別にこだわらず好きな生き方ができるスクランブル交差点のような家族です。家族が協力し、努力して男女平等の関係を築きあげてこられたでしょう。性別による一方通行や進入禁止が多い家族より、スクランブル家族の方が居心地いいことを周囲や後の世代にも伝えてあげてください。

平成二十五年度じんけん標語『優秀・優良作品』

優秀賞

つころうよ 笑顔が集まる みんなの輪
吉見小学校 五年 宮本明里

きめてみよう「だめ!!」といえる ストライク
南小学校 六年 横谷泰成

「やめようよ」 小さな勇気の 大きな力
山南中学校 二年 澤野菜緒

あいさつの 笑顔ひとつで 活きる町
村岡孝司

優良賞

きずつける その一言が 友達を
船城小学校 五年 安岡蒼生

だいじょうぶ いつでもいるよ 君のそば
久下小学校 六年 河野誠也

陰で悪口言わないで ちゃんと 会って 話そうよ
柏原中学校 一年 堀 琢磨

いい人は 他人の良さにも 気づく人
村岡君代



平成二十五年度 人権啓発ポスター 『優秀作品』



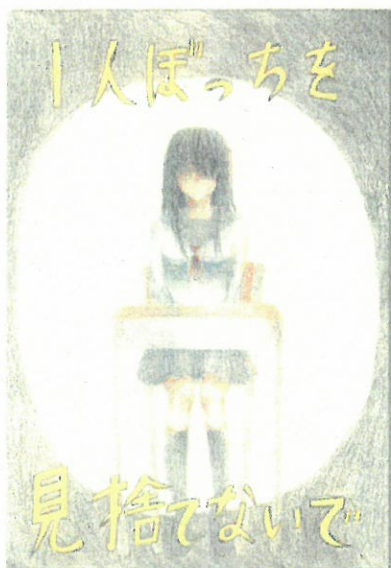
優秀賞 竹田小五年 廣瀬 野乃佳



優秀賞 山南中一年 梅田 和見



優秀賞 前山小六年 榎谷 愛海



優秀賞 氷上中二年 徳田 彩



優秀賞 青垣中三年 足立 唯

平成二十五年 人権啓発ポスター『優良作品』



優良賞 上久下小六年 原田 采音



優良賞 鴨庄小五年 塩見 茉菜



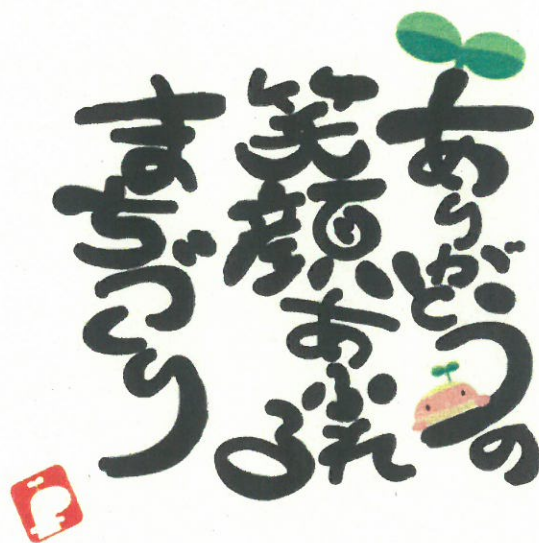
優良賞 柏原中三年 山藤 京花



優良賞 氷上中二年 三森 水晶



優良賞 柏原中一年 吉田 真実



発行：丹波市
編集：まちづくり部人権啓発センター

〒669-3692
兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地
TEL：0795-82-0242 FAX：0795-82-5448